

あいな里山の動物②

ニホンジカ

ニホンジカはわたしたち日本人にとって、大変身近な動物です。奈良県の春日大社や

広島県の厳島神社ではシカは神様のお使いとして大切にされています。また、大むかし

から日本人はシカの肉を食料にもしてきました。しかし、最近では田や畑などに姿を

現し、農作物を荒らすというイメージが強く、「害獣」として扱われることが多くなりました。

そこで、今日はニホンジカのことを正しく理解するためにみんなで学習しましょう。

1. ニホンジカの身体検査

・体長（鼻先から尾の付け根までの長さ）1 m～1 m 8 0 cmぐらい

・体重（オス ～ kg、メス ～ kg）

・肩高（肩までの高さ）

（オス ～ cm）

・生息場所…ロシア・中国の東部、台湾、

日本など。ニホンジカは本州・

九州・四国とその近くの島。

・食べ物…植物食たとえば（ ）など

・角…角があるのは（ ）だけで、毎年（ ）に生えかわる。

・ジャンプ力に優れ、高さ（ m）の柵を飛びこえる。



2. ニホンジカクイズ



①ニホンジカは夏と冬で毛の色が変わります。

では夏毛の茶色に白色の斑点模様を何模様というでしょう。

(

もよう
模様)

②ニホンジカの白い斑点模様はなんのためにあるのでしょうか？

1. 一匹一匹を見分けるため。

2. 敵から身を守るため。

3. 自分を美しく見せるため。

③ここからは〇×クイズだよ。よ〜く考えてね。

() ニホンジカのオスの角はメスをめぐってオスどうしでけんかをするときに使われる。

() 生えはじめの皮膚に覆われた角（袋角）は中国で漢方薬として使われた。

() 江戸時代には、奈良のシカを殺すと犯人は死刑になった。

() ニホンジカは植物を食べるがキノコは食べない。

() ニホンジカは泳ぎが得意だ。

() シカ肉は別名「サクラ」と呼ばれる。

さあ、何問できたかな？これであなたもニホンジカ博士だ！